

法隆寺界隈探訪ご案内

2023,10.30

企画委員会

日増しに秋が深まり公園の木々も鮮やかに色づく季節となりました。法隆寺界隈も秋たけなわです。第2回目の企画委員会の自主ガイドは、法隆寺界隈散策です。2023年は、法隆寺が世界文化遺産に登録されて30周年。法隆寺を中心に法起寺・法輪寺界隈を巡ります。運のいいことに10日は、法隆寺で秘仏中の秘仏とされていた救世観音像の特別開扉の期間にもなっています。拝観予定をしています。みなさんと秋の斑鳩の里散策を楽しみましょう。



記

実施日：2023年11月10日（金）

集合場所：JR法隆寺駅改札口を出て、北出口階段を下りたところ

集合時間：1.2班 9時45分

3.4班 10時

コース：JR法隆寺駅→法隆寺→夢殿→中宮寺→中宮寺史跡公園（1.2班 12:30 頃 3.4班 12:45 頃・昼食&トイレ休憩）→法起寺→法輪寺→法隆寺アイセンター

※全行程7km弱・途中27段の階段は、ありますが、あとは、平たんな道です。

解散：班別 15:15～15:30

法隆寺アイセンターから、法隆寺駅行

道路を渡って王寺駅行きのバスがあります。もちろん徒歩で法隆寺駅にも帰れます。

雨天時の対応：前日17日の気象庁ホームページの天気予報で、奈良北部 6:00～18:00 の降水確率が50%以上で中止。

持ち物：弁当、飲料、雨具、敷物、各自必要なもの

歴史散策の主な寺院

法隆寺：607年、用明天皇の願いを受け、推古天皇と聖徳太子が建立。世界最古の木造建築物として、日本最初の世界文化遺産に登録される。

国宝は39件

国宝の中門→

中宮寺：大和三門跡尼寺の一つ。本尊は如意輪観音。

現存で日本最古の刺繍「天寿国繡帳」（天寿国曼荼羅、国宝）を所蔵。



中宮寺跡史跡公園：聖徳太子が母の穴穂部間人皇后の為に建立したと伝えられている。

法隆寺東院伽藍の東側にある中宮寺が最初に建てられた場所。

1936年から1996年まで発掘調査が行われ金堂跡と、塔跡は、確認された。

法起寺：太子が法華経を講じた「岡本宮」を太子の遺言により、その子山背大兄皇子が寺に改めたもの。三重塔は706年に完成したとされ、高さ24mの塔は、最古のもの。

法輪寺：創建については、①622年山背大兄王とその子が太子の病氣平癒を祈るために建てた、②法隆寺焼失後に百済の開法師他3人が建てたとの2説がある。

法起寺とともに斑鳩三塔と呼ばれているが、創建当時の三重塔は、落雷により焼失。現在の塔は→作家 幸田文氏らの尽力により1975年に再建されたもの。



講堂の本尊は十一面観音立像で高さが5m近い一本彫り。

三井の井戸：聖徳太子がわが子の産湯を使うために三つの井戸を掘ったといううちの一つ。

現存する唯一の井戸「赤染井」と呼ばれる。

古代朝鮮と同じ形式で技術上貴重なもので、現在も水をたたえている。

今回は、どの仏様にお会いできるのでしょうか。

